

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島情況雑件 沖縄関係第四卷

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-21 キーワード (Ja): 琉球問題, 台湾訪問, 新聞情報, 祝祭典, 対日要望書, 日本国会参加 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43190

(12) 琉球各界代表9台灣訪問關係

A 3.0.0.7-1

極秘

主管課長へ
本電主管、配付先等に関し御意見あ
れば直ちに電信課検閲班に連絡ごう

電信写

38 20736 照 電線
台北 7月26日 1705発
本省 26日 1848着
大平大臣 本村大使

琉球政府太田主席の訪台に因る事

中ノア号

当地新聞報道に於いて琉球政府太田主席
は縣総統以下当国政府首脳に表敬し且つ当
国の経済状況を観察し経済交流及び合作問
題を討議すに於いて内務局長経済局長等一行
13名を従え8月1日から6日間の訪台を行
なす趣である(台湾及び琉球間の対日パイ
パンの輸出入協定問題甘蔗苗の宮古島移植問題
台湾米2万トンの輸入問題の討議等を行
わたり由俾えらるる。

琉球のステータスに因る事本方と当国

記帖了

極秘

主管課長へ
本電主管、配付先等に関し御意見あ
れば直ちに電信課検閲班に連絡ごう

電信写

との関係は AGREED TO DISAGREE の微
妙な対立関係にあり、一方今回の太田主席の
訪台の目的も主として経済問題で政治的の
意味合いを有した次第ではないと思われ
るので本便としては同主席と当国政府との
接触については特に差し出がましき行動は
とらねたが当国側機要に招待懇談する程度
に止めたいと在る所存である本省において
何等御意見あらば本便直ちに折返し御
意願いたく右報告書之處のため御伺申上
げり。

配布先大臣官舎外務官房長兼兼至兼兼
部長兼兼至兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼
兼兼内外

(主管局前) 2300

電信写

昭和三一 一五〇二二 略 台北 一〇月一九日一八六二七 堀内大使

重光大臣 (琉球各界代表の台湾訪問に関する内話の件) 第二九七号

二十九日、中日文化経済協会副幹事長兆仲剛はアジア反共連盟中国総会長谷正綱の代理として本使を来訪し、同連盟琉球総会責任者蔡璋は琉球より書面をもつて琉球各界訪問団を組織し反共合作及び経済貿易問題等につき意見交換のため来訪したきにつき、反共連盟中国総会の名義にて招待を請う旨申越したので関係各方面との協議の結果、その趣旨に鑑み、これを拒絶することとも困難であるとの結論に達し意見交換の題目を商談反共合作及び経済貿易問題に限定し、内政その他の問題に論及しないこととして招請することとした結果、右訪問団は左記構成をもつ

外務省

記帖了

電信写

二十三日、中日文化経済協会副幹事長兆仲剛はアジア反共連盟中国総会長谷正綱の代理として本使を来訪し、同連盟琉球総会責任者蔡璋は琉球より書面をもつて琉球各界訪問団を組織し反共合作及び経済貿易問題等につき意見交換のため来訪したきにつき、反共連盟中国総会の名義にて招待を請う旨申越したので関係各方面との協議の結果、その趣旨に鑑み、これを拒絶することとも困難であるとの結論に達し意見交換の題目を商談反共合作及び経済貿易問題に限定し、内政その他の問題に論及しないこととして招請することとした結果、右訪問団は左記構成をもつ

- 記
- 團長 比嘉秀伝 (琉球政府官房長)
- 副團長 大宜味朝徳 (沖縄興信所所長)
- 総幹事 松川商工会議所調査部長
- 団員 長嶺
- 立法院副議長 富原

外務省

電信写

(第二九七号の三)

琉球銀行総裁	高良
那覇市会議員	渡嘉敷
琉球海運社長	安里
琉球大学学長	竹内
沖繩食糧社長	瀬長
琉球経済局長	野崎
琉球婦女会代表	

(以下暗号)

ニ本件は往電第二八七号救済物資の寄贈にも関係あり、琉球側としては右に対する感謝表明を行うべく蔡璋の画策にも右が相当役立ちたるにあらずやと想像される。

(了)

配布先 次官、官房長、局長、次長、総、ア総、ニ経総、五
国協、情文、ニ審

外務省